

各学科における各段階の到達目標

■日本語文化学科 到達目標（国語）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②中学校教職の特質と概要を理解する。 ③教職実践力の土台となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解（発達と障害を含む）・制度について、基礎知識を修得する。	①中学校教科「国語」を教授するに足る専門的知識及び技能を、国語学・国文学・書道の各専門分野より修得する。 ②中学校教科「国語」の内容との関連性につき、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②中学校における教育課程及び教育方法についてそれらの実践上の基礎的知識を修得する。	①中学校教科「国語」を教授するに足る専門的知識及び技能を、国語学・国文学・漢文学・書道の各専門分野より修得する。 ②中学校教科「国語」の内容との関連性につき、自主的に探究する方法を身につける。 ③中学校国語科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。
	集中	①通信情報技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	
第2年次	前期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。 ③中学校における生徒指導・進路指導の実践上の基礎的知識を修得する。 ④中学校における総合的な学習の時間・特別活動の実践上の基礎的知識を修得する。 ⑤教育実習生は、中学校教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	①中学校教科「国語」を教授するに足る専門的知識及び技能を、国文学の分野より修得する。 ②中学校教科「国語」の内容との関連性につき、自主的に探究する方法を身につける。 ③中学校国語科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、教材分析や授業構想のための知識・技能を身につける。
	後期	①中学校における教育相談分野を中心に、教職に関する基礎的知識及び技能を修得する。 ②「教職実践演習（中）」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	①中学校教科「国語」を教授するに足る専門的知識及び技能を、国文学の分野より修得する。 ②中学校教科「国語」内容との関連性につき、自主的に探究する方法を身につける。
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

■英語キャリア・コミュニケーション学科 到達目標（英語）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等 大学が独自に設定する科目	教科及び教科の指導法に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	①教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②中学校教職の特質と概要を理解する。 ③教職実践力の土台となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解（発達と障害を含む）・制度について、基礎知識を修得する。	①中学校教科「英語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、英語学・英語コミュニケーション・異文化理解の各専門分野から修得する。 ②中学校教科「英語」の内容との関連性につき、自主的に探究する方法を身につける。
	後期	①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②中学校における教育課程及び教育方法についてそれらの実践上の基礎的知識を修得する。	
	集中	①通信情報技術（ICT）の活用と理論を理解する。 ②教育実習の目的や計画・内容等を理解する。	①中学校英語科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。
第2年次	前期	①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。 ③中学校における生徒指導・進路指導の実践上の基礎的知識を修得する。 ④中学校における総合的な学習の時間・特別活動の実践上の基礎的知識を修得する。 ⑤教育実習生は、中学校教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。	①中学校教科「英語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、英語学・英語文学・英語コミュニケーション・異文化理解の各専門分野から修得する。 ②中学校教科「英語」の内容との関連性につき、自主的に探究する方法を身につける。 ③中学校英語科指導法の基礎を学び、指導案の作成・模擬授業を通して、授業実践力を修得する。併せて、教材分析や授業構想のための知識・技能を身につける。
	後期	①中学校における教育相談分野を中心に、教職に関する基礎的知識及び技能を修得する。 ②「教職実践演習（中）」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。	①中学校教科「英語」を教授するに足る基礎的知識及び技能を、英語学・英語文学・英語コミュニケーションの各専門分野から修得する。 ②中学校教科「英語」の内容との関連性につき、自主的に探究する方法を身につける。
	通年	①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。	

■幼児教育学科 到達目標（幼）

履修年次		各段階における到達目標
年次	時期	
第1年次	前期	(1)基礎的な教養、及び英語、情報スキル、レポート作成や発表の技法など、短期大学士にとって必要な知識・技能を身につける。 (2)幼児教育・保育に関する入門的な内容を理解する。 (3)幼稚園教員・保育士という進路への動機づけを高める。
	後期	(1)幼稚園教員・保育士として身につけておかなければならない科目の内容の知識・理解を深め、特に保育内容の科目や実習指導の科目での学びを中心として、実践的指導力を身につける。 (2)保育士課程については、保育実習によって実践的理解を深め、科目における理解と総合して、幼児教育・保育を理解する。
第2年次	前期	(1)幼稚園教員・保育士として身につけておかなければならない科目の内容の知識・理解を深め、特に保育内容の科目や実習指導の科目での学びを中心として、さらに実践的指導力を身につける。 (2)保育士課程については、保育所における実習によって実践的指導力を高め、科目における理解と総合して、幼児教育・保育をより深く理解する。
	後期	(1)幼稚園教員・保育士として身につけておかなければならない科目の内容の知識・理解を、幼稚園教育実習での学びと結びつけながら、さらに深める。 (2)幼稚園教育実習における学びを通して、幼稚園教員としての実践的指導力を身につけ、保育実習での学びと総合して、また科目における理解と総合して、幼児教育・保育の実践的指導力を高める。 (3)「保育・教職実践演習（幼）」を通して、これまでの学びを振り返り、自らの課題に取り組む。

■食生活学科 到達目標（栄養教諭）

履修年次		教育の基礎的理解に関する科目等	栄養に係る教育に関する科目
年次	時期		
第1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ①栄養教諭教職課程を履修する動機と目的を理解する。 ②栄養教諭の特質と概要を理解する。 ③栄養教諭として求められる教職実践力の土台となる教育の理念・目的・内容・方法・対象理解（発達と障害を含む）・制度について、基礎知識を修得する。 	
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ①公教育の理念・思想と制度・行政・経営システムを中心に、それらの基礎的知識及び技能を修得する。 ②学校教育における教育課程及び教育方法についてそれらの実践上の基礎的知識を修得する。 	
	集中	<ul style="list-style-type: none"> ①通信情報技術（ICT）の活用と理論を理解する。 	
第2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ①道徳教育及び人権教育の目的・内容・方法等について、実践の観点から理解する。 ②特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法・学級経営等に関する基礎的・実践的知識と技能を修得する。 ③学校教育における生徒指導の実践上の基礎的知識を修得する。 ④学校教育における総合的な学習・探究の時間・特別活動の実践上の基礎的知識を修得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①栄養教諭として必要な専門的知識及び技能を、「学校栄養教育・指導論」より修得する。 ②上記①と栄養教育実習（特に授業及び栄養指導）との係わりを考慮し、それらの実践上の意義及び具体的内容を自主的に探究する方法を身につける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ①教育相談の理論及び方法を中心に、栄養教諭教職に関する基礎的知識及び技能を修得する。 ②教育実習生は、栄養教育実習体験を通して、教職の使命感や責任感、実践力を修得し、教職に必要な資質能力を形成する。 ③「教職実践演習（栄教）」を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を再確認する。 	
	通年	<ul style="list-style-type: none"> ①教育実習の目的や計画・内容等につき理解を深めるとともに、特別な配慮を要する生徒への対応方法をも含め、授業方法、学校学級経営等々に関する基礎的・実践的知識技能を修得する。 ②教育実習の事後指導を通して、反省事項や今後の研究課題につき、明らかにするとともに、教職への志を確認する。 	